



テーマ展

天体文化史のとき

令和5年

1.14 [土] - 3.21 [火・祝]

❖ 無料入館日 / 1月14日 [土]

一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

〒021-0101 岩手県一関市厳美町字沖野々 215 番地 1

TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>

大男 二 方 七 五 九 十 有
小男 八 方 三 六 正 十 成
巳之年 大小
程 陰 陽 関 取
未 辰 年 辰 辰

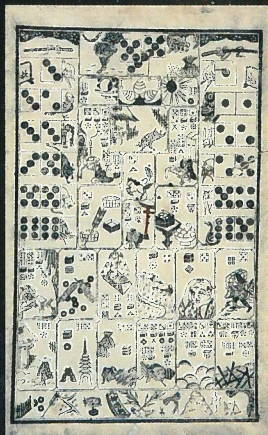
月 生

天体と時間 文化史のテーマ展

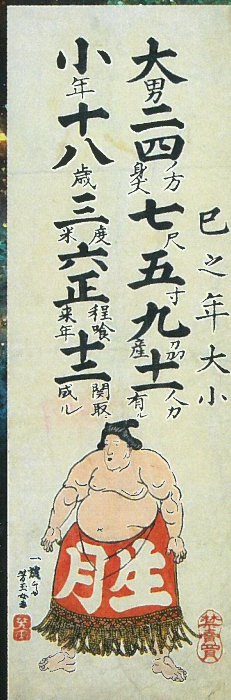
天体と時間。それは私たちの日常に当たり前存在しています。古くから人々は夜空に耀く星々に憧れを抱き、畏怖してきました。また、形を持たない時間を、暦や時計によって見えるようにし、日々生活しています。

現在では、科学分野とされる天体や時間に関する知識ですが、江戸時代までは、科学・信仰・呪術が交差するものでした。天体や暦を司り、吉凶占いなどを行った陰陽道もその一例でしょう。

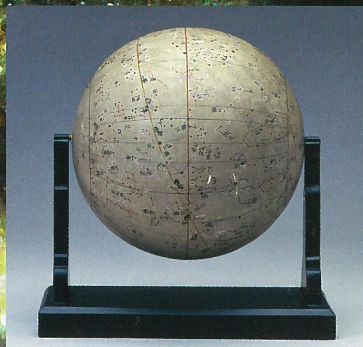
本展覧会では、仙台藩、一関藩の資料を中心に、人々が天体や時間に関する知識をいかに学び、生活に取り入れていたのかを紹介します。



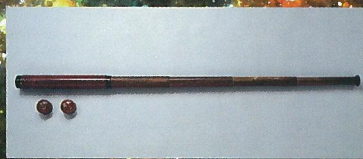
天保十三年盛岡南部暦 [当館蔵]



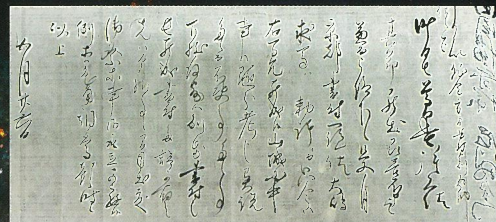
弘化二年大小暦 [当館蔵]



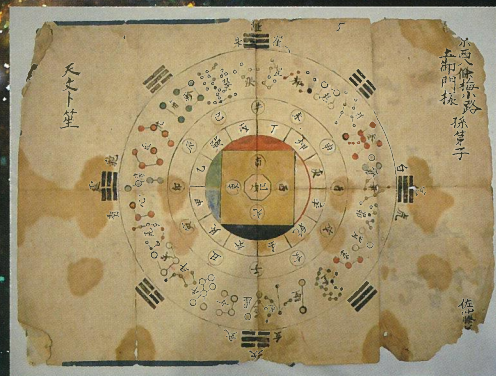
天球儀 [当館蔵]



和製望遠鏡 [当館蔵]



田村建頭宛渋川春海(助左衛門)書状 [当館蔵]



天文卜筮 [登米市歴史博物館蔵]

資料保護のため、会期中に展示替えを行うことがあります。ご了承ください。

❖ 講演会

「一関の天文学～渋川春海と田村建頭～」

日時 2月19日(日) 13:30～15:00

講師 黒須 潔氏(仙台郷土研究会理事)

定員 50名(要申込) 参加料/無料

❖ 館長講座

「暮らしのなかの暦・占い - 南部絵暦と東方朔 -」

日時 2月5日(日) 13:30～15:00

講師 菊池勇夫(当館館長)

定員 50名(要申込) 参加料/無料

❖ 展示解説会

日時 1月21日(土) 13:30～、1月22日(日) 13:30～、2月5日(日) 15:10～、2月19日(日) 15:10～
3月4日(土) 13:30～、3月18日(土) 13:30～、3月19日(日) 13:30～

※各40分程度、ただし状況により人数制限や短縮場合があります。 ※入館料が必要です。<申込不要>

一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

〒021-0101 岩手県一関市厳美町字沖野々215番地1

TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>



開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日 毎週月曜日

入館料 一般 300円(240円) 高校生・大学生 200円(160円) 中学生以下 無料

※()内は団体(20名以上)割引料金

次の方々の入館料は免除となります。

①障がい者・介護者の方(障がい者手帳などを提示願います。) ②65歳以上の一関市民の方(年齢・住所が証明できるものを提示願います。)

共通入場券 1年間有効1,000円/10日間有効500円

※有効期限内に限り、何度でも対象施設に入館可能(一関市博物館、芦東山記念館、石と賢治のミュージアム、大龍キリシタン宗教公園)

交通案内

[自動車]一関ICより西へ約7分(5km)、一関駅より西へ約17分(9km) [路線バス]一関駅前9番乗り場厳美溪方面行約20分(厳美溪バス停下車徒歩7分)

新型コロナウイルス感染症への対応等により、変更となる場合があります。

最新の情報は、当館ホームページまたはお電話にてご確認くださいませようお願いします。

